

資料番号	4
------	---

令和6年5月17日
課名 農林水産局農業技術課
担当者 課長 柴山
内線 3556

県立農業技術大学校の学生確保及び就農状況について

1 要旨・目的

県立農業技術大学校（以下「大学校」という。）における令和6年度の学生の確保状況と令和5年度卒業生の就農状況を取りまとめたので報告する。

2 現状・背景

農業関連高校との連携等による学生確保に向けた募集活動を行うとともに、在学生については、農業法人へのインターンシップや模擬経営実習等を実施し、次世代を担う農業者の育成に取り組んでいる。

3 概要

(1) 入学生の推移（令和4年度～令和6年度実績） （単位：人）

学生内訳	年度別入学生数の推移			（参考） 令和6年度在校生内訳		
	R4	R5	R6			
一学年定員 (a)	40			1年生	2年生	合計
入学生数 (b)	18	25	29	29	24	53
農業関連高校出身	9	10	13	13	10	23
農業関連高校以外高校出身	6	12	13	13	11	24
一般社会人等	3	3	3	3	3	6
（うち、県外出身）	（3）	（7）	（1）			
入学定員充足率（%） (b/a)	45.0	62.5	72.5			
非農家率（%）	88.9	66.0	55.2			

(2) 入学生アンケート結果（令和4年度～令和6年度実績）

ア 大学校を知るきっかけ（複数回答可） （単位：人）

入学年度	R4	R5	R6
人から聞いて	16	20	17
（うち、高校の先生）	（5）	（8）	（11）
インターネット（大学校HP等）	8	12	10
高校主催の行事（進路ガイダンス等）	6	2	3
大学校主催の行事（オープンキャンパス等）	5	10	2
その他（広報誌等）	3	3	2

イ 受験を決める際にもっと知りたかったこと（複数回答可）（単位：人）

入学年度	R 4	R 5	R 6
学生生活	10	15	7
学習内容	7	7	9
卒業生・在校生の声	10	15	3
施設（寮）	3	9	4

(3) 卒業生の進路（令和3年度～令和5年度実績）（単位：人）

卒業年度	R 3	R 4	R 5
卒業生数 (a)	23	25	15
就農小計 (b)	19	20	12
自営（就農に向けた研修も含む）	5	6	1
農業法人等	15	13	11
農業関連就職（J A、農機具会社等）	1	3	2
一般企業就職	3	2	0
その他	0	0	1
就農率 (%) (b/a)	82.6	80.0	80.0

4 課題・効果の分析

令和6年度の入学生は、令和2年度以来の入学定員充足率70%以上を確保できた。この主な要因として、高校の先生から大学校の情報を得た入学生が増えていることから、毎年大学校と当課職員で実施している高校訪問の際、近年の農業情勢や大学校卒業後の進路は雇用就農中心に就農率が高い状況であることなどを丁寧に説明してきたことで、先生の認知度が高まり、進路の1つとして学生に紹介される機会が増えたためと分析している。

加えて、近年、手軽にインターネットを活用して大学校の情報を得ていた入学生も多く、SNSでの定期的な情報発信等も要因の1つと分析している。

また、令和5年度卒業生の就農率は、80%と高い水準を維持している。この要因として、近年、農業法人でのインターンシップなど農業現場における実習等を充実させたことで雇用就農に対する理解が深まり、農業法人などへ就職する学生が増加したことが挙げられる。

5 今後の対応

就農率が高く維持されていることから、多くの学生を確保し、入学定員充足率を高めることが最重要であると考え、引き続き、県内の高校訪問を実施し、大学校の情報を提供する。

また、3(2)イ「受験を決める際にもっと知りたかったこと」を参考に、令和6年5月からホームページ (<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-noudai/>) をリニューアルし、情報を充実させている。

卒業生の進路については、昨年度と同様に農業法人等雇用就農ガイダンスの実施や先進経営体実習等の機会を活用し、企業経営体とのマッチングによる雇用就農等を推進する。